

気象庁同時発表

平成29年1月12日
水管理・国土保全局防災課
道路局 国道・防災課
気 象 庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

今週末にかけての大雪に備え、下記のとおり、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

- 北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、15日頃にかけて大雪が継続し、猛吹雪となるところがある見込みです。また、14日から15日にかけては、東海や近畿等、西日本から東日本の太平洋側の平野部でも局地的に大雪となるおそれがあります。
- 大雪や猛吹雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着をお願いします。

※別添もご参照ください

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

防災企画官 田中 克直 (内線35762)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室

室長 千葉 剛輝 (内線3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(類似の被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室

企画専門官 志々田 武幸 (内線37812)

課長補佐 今田 一典 (内線37662)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

大雪に対する国土交通省緊急発表 平成29年1月12日 緊急発表

- 北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、15日頃にかけて大雪が継続し、猛吹雪となるところがある見込みです。また、14日から15日にかけては、東海や近畿等、西日本から東日本の太平洋側の平野部でも局地的に大雪となるおそれがあります。
- 大雪や猛吹雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】

平成29年1月15日頃にかけての大雪と暴風雪

<大雪や暴風雪に警戒が必要な時間帯>

	12日		13日		14日		15日	
	夜	朝	昼	夜				
北海道							←	←
東北	←	→			←	←	←	←
関東北部					←	←	←	←
甲信			←	←	←	←	←	←
北陸	←	←	←	←	←	←	←	←
東海			←	←	←	←	←	←
近畿北部					←	←	←	←
中国					←	←	←	←

大雪: ← → 猛ふぶき: ← →

予想される降雪量	13日18時までの24時間	14日18時までの24時間
北海道	30センチ	20から 40センチ
東北	70センチ	40から 60センチ
関東北部	40センチ	30から 50センチ
甲信	40センチ	50から 70センチ
北陸	80センチ	80から100センチ
東海地方の山沿い	60センチ	60から 80センチ
近畿北部	30センチ	40から 60センチ
中国	20センチ	40から 60センチ

その後さらに降雪量が増える見込み。

※各地の气象台が発表する気象情報等に留意ください。

最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。

(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

【2. 過去の大雪における被災事例】

平成28年1月24日から25日にかけての大雪

< 国道8号や県道等で合計200台以上の立ち往生が発生 >

- 平成28年1月24日から25日にかけて北陸地方整備局管内全域で降雪となり、特に新潟県見附市・長岡市上空には断続的に強い雪雲が流れ込み、気象庁長岡観測所で観測史上4位の降雪(69cm)を記録しました。
- 当該地域の各所で圧雪路面によるスタック車両が発生。並行する高速道路の通行止めや気温の上昇による圧雪路面の悪化が重なり、長時間の渋滞が発生。人流・物流に大きな影響を与えました。



平成28年1月26日(火)12:00頃
長岡市灰島新田付近の圧雪・渋滞状況

【3. 整備局など現場の対応状況】

- 各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。